

公開タグ	その他の関連情報	その他の関連情報	その他の関連情報
タイトル	COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第7版	COVID肺炎に対する高流量酸素療法 (High Flow Nasal Canula : HFNC) の使用について Ver.2	一般病床および介護施設における「新型コロナウイルス感染症もしくはその疑いがある認知症高齢者の行動・心理症状の対応および身体拘束予防のための手引き (第1版)」
主に該当する病期	急性期	急性期	病期を問わず
概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人日本感染症学会による指針。 現在日本でCOVID-19に対して適応のある薬剤はレムデシビルである。デキサメタゾンも重症感染症に関しての適応がある。 適応のある薬剤以外で、国内で既に薬事承認されている薬剤をやむなく使用する場合には、各施設の薬剤適応外使用に関する指針に則り、必要な手続きを行う事とする。 適応外使用にあたっては基本的にcompassionate useであることから、リスクと便益を熟慮して投与の判断を行う。また、治験・臨床研究の枠組みの中にて薬剤を使用する場合には、関連する法律・指針等に準じた手続きを行う。有害事象の有無をみるために採血などで評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人日本呼吸器学会呼吸管理学会から呼吸管理に関する提言。 わが国では当初COVID-19においてHFNCは原則使用しないとされたが、諸外国のガイドラインでは推奨とされるものも多く、相反する指針をもとにどのように現場で対処していくのかについて下記のように示している。 HFNCはI型急性呼吸不全の挿管率や死亡率を減らし、使用には必ずしもICUを要さずICU滞在や人工呼吸器使用の抑制にも役立つ、また挿管を希望しないDo Not Intubate (DNI)の場合や抜管後の管理などでも有用な手段である。 高流量ガスが上気道内を通過して外部へ流出するオープンシステムであるため、COVID-19の場合エアロゾルを発生させウイルスを飛散させて院内感染を来す懸念がある。 2020年4月にA：通常の酸素吸入で酸素化が維持できなければ挿管人工呼吸を検討する。B：通常の酸素吸入で酸素化が維持できなければまずHFNCを行う。の2案を提言する。 その利点、欠点を勘案しながらいずれを採用するかは各施設の状況、考え方で判断するとした。 	<ul style="list-style-type: none"> 広島大学大学院医系科学研究科共生社会医学講座による認知症高齢者に対する対応についての手引き。 一般病床および介護施設における「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)もしくはその疑いがある認知症高齢者の行動・心理症状の対応および身体拘束予防のための手引き」である。
最も注目するポイント ＝理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 本指針はこれまでの知見に基づき、COVID-19に対する国内での薬物治療に関する考え方を示すことを目的としている。 COVID-19罹患患者の薬物治療の考え方を理解することは、COVID-19罹患患者を対象としたチーム医療を推進する上で重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 集中治療室に勤務する理学療法士にとってCOVID肺炎に対するHFNC使用の勧告を把握しておくことは必須である。 使用は各施設の状況や考え方に委ねられるとされているため、集中治療室に勤務する理学療法士はそれぞれの施設の方針を確認する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19もしくはその疑いがある認知症高齢者に対して理学療法を行う際に参考となる。 認知症高齢者の権利を守ることを目的として、医療・介護従事者が具体的にCOVID-19もしくはその疑いがある認知症高齢者に対してどのように対応するべきか、特にせん妄や行動・心理症状と身体拘束について現時点における考え方が整理されている。 せん妄や行動・心理症状に対し予防的な対応を行う事によってそれらの発生リスクを低減させること。 発生時適切に対応することで身体拘束に可能な限り至らないようにし、人権に配慮したかたちで実施されるようにすること。
リソースのリンク	https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_drug_210201.pdf	https://www.jrs.or.jp/modules/covid19/index.php?content_id=16	http://inclusivesociety.jp/project.html?fbclid=IwAR2ft0mZ-tiWUVcqG_nUFHBI8ucw7TWhUPR4WsXyYSZ1SxLzCWotmCBqk8
QRコード			
公開日	2月1日	2月5日	2月15日